

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 28年 11月 10日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4673600104
法人名	社会福祉法人 市比野福社会
事業所名	グループホーム きままの郷
所在地	鹿児島県薩摩川内市樋脇町市比野3244-1 (電話) 0996-38-2700
自己評価作成日	平成28年8月3日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokensaku.jp/46/index.php
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 福祉21かごしま
所在地	鹿児島市真砂町54番15号
訪問調査日	平成28年9月24日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

入所者の皆様がそれぞれ自分の望む生活を実現できるよう手助けしたいと考え、援助しています。ご家族にも普段の生活を知っていただきたいと考え、毎月写真入りで日頃の様子を手紙に書いて送っています。行事の際には案内状を送り、できるだけ家族にも参加していただき家族のふれあいを大切にしています。寄り添う介護を心がけています。「スタッフが行う作業は手早く行うこと、利用者と一緒に作業はゆっくりと」

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

○事業所と地域との関係

自治会に加入し、地域の一員として清掃活動に参加するほか、小学校の運動会や中学校の職場体験の受け入れ、地域の文化祭に出かけるなど外出する機会は多い。また、同法人の特養での法話やバザー、夏祭りへの参加も利用者の楽しみのひとつになっており、友人や知人、地域住民と接する機会になっている。

○災害対策

年2回の災害訓練には地域住民も参加しており、地域住民には避難先での見守りをお願いしている。日頃より地域との連携を密にし、協力体制を構築したい意向である。

自治会の防災無線については、自治会長との連携がとれていることもあり利用しやすい環境にあるため心強い。災害用の備蓄品については、備蓄内容や消費期限等をリスト化し、見やすい場所に掲示している。

○個々に応じた外出支援

入居前の人間関係や馴染みの場所を個人台帳に記載し、入居後もお店やお墓参りなど、個人の希望する場所に出かけられるよう支援している。また、帰宅願望が強く不穏な場合は、自宅周辺に出かけることで利用者の気持ちを落ち着かせるなど、個人の気持ちや思いについて細やかに配慮した対応をしている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	地域との交流を目指した理念を掲げています。毎朝の申し送り時に勤務者全員で斉唱。食堂の目に付くところにも掲示し、実現できるよう職員同士の話題にしています。	職員が意見を出し合い作成した理念を、玄関や事務所、食堂に掲示している。毎日唱和することで意識付けを図っており、特に尊厳のある生活支援や利用者に寄り添うこと、地域交流を深めることを大切に考え、日々理念の実現に向けて取り組んでいる。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	自治会に加入し、年2回の清掃活動にも参加しています。地域のイベントにも積極的に参加しています。	自治会の清掃活動のほか小学校の運動会への参加や地域の文化祭に見学に行くなど地域に出かける機会が多い。また、日常的に散歩に出かけ地域住民と会話をしたり、生け花や公文、中学校の職場体験等のボランティアとの交流を続けている。今後は更なる地域交流の場を設け、関係性を深めていきたいと考えている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	運営推進会議の席で、利用者の行動障害への対応について説明しています。委員である自治会長を通じて、地域の皆様にも伝達していただいています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2か月に1回開催しています。会議には利用者代表にも出席していただき意見の発言をお願いします。介護スタッフも同席し、出席者からの意見を他のスタッフにも伝達してケアに行かせるよう配慮しています。	利用者や家族のほか、地域包括支援センター、在宅介護支援センター、行政職員、消防署職員も参加して事業所の取り組みの説明や行事、外部評価の報告等を行っている。会議では、緊急時の避難誘導が速やかに行われるための対策を話し合うなど積極的な意見交換がなされている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>市の職員に運営推進会議の委員になってもらっています。会議の際や、窓口に出向いて相談にのってもらっています。電話での相談にも応じて頂いています。</p>	<p>行政職員とは運営推進会議で顔を合わせたり、提出書類等の関係で市役所に出向いた際に、よく話をしたり相談に乗ってもらうなど顔なじみの関係ができています。また、ケアマネ研修会やグループホーム協議会等で地域包括支援センターの職員とも交流しており日頃から連携を深めている。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>玄関には施錠することなく身体拘束もありません。毎月、身体拘束委員会でも話し合っています。身体拘束についての勉強会にも参加し、全職員で共有するようにしています。</p>	<p>マニュアルを作成し毎月身体拘束委員会が身体拘束のない暮らしについて確認するとともに、法人内の研修会に参加し、学んだ内容を職員会議で報告することで情報共有を図っている。日頃から声のかけ方については、相手の受け取り方にも気を配っており、言葉遣いや内容が不適切だと感じた際には職員に注意を促すこともある。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>虐待防止の勉強会に参加し、全職員で共有しています。施設内での虐待は絶対にあってはならないものと職員全員で認識しています。万が一虐待があつたらすぐ気付くよう、利用者一人一人を観察しています。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>勉強会で学習しています。利用者のおひとりが日常生活自立支援事業を利用されており、担当の社協職員さんとは定期的に連絡を取りながら近況を報告しています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	入所時には時間をかけて重要事項説明書の説明を行い、家族に持ち帰っていただいて再度読んでもらいます。そのうえで不明な点や気になることを質問していただき、十分に納得されてから記名・捺印していただいています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	年に2回行事に合わせて家族会を開催し、家族からの意見や要望を聞いています。家族同士の意見交換により、不安の軽減にもつながっています。利用者や家族からの意見や要望については改善できるよう話し合い、結果は書面で報告しています。	春の花見と秋の運動会等の行事に合わせて家族会を開催したり、来所時の際に意見や要望を聞くようにしている。また、定期的に「郷便り」を家族に送付し事業所の様子を写真とともに伝えることで、事業所の様子を遠方の家族にも感じ、汲み取ってもらえるよう努めている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	月に1回の職員会議では、職員が自分の意見や要望を自由に発言しています。出された意見は改善できるようみんなで話し合っています。日頃から、気軽に意見が言えるような関係を築いています。	職員と管理者は日頃からよくコミュニケーションを図っており、何でも言える関係ができている。勤務表作成時は、可能な限り休みの希望を叶えたり、異動の際も個人の希望があれば経営者と調整するなど配慮している。働きやすい職場のため、離職者も少なく、利用者、家族の安心につながっている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	職員が必要な資格を取得できるよう励ましています。経験年数の長い職員から順次介護福祉士資格の取得を促し、全職員が有資格者になるよう配慮されています。職員個々の仕事内容を観察し、優れているところを評価し努力を認めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>入職時の苑内研修、協力病院での勉強会にも出席しています。外部の勉強会にもできるだけ出席するようにしています。学習したことは職員会議で報告、全職員で共有しています。資料はファイルし、いつでも閲覧できるようにしてあります。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>法人内や協力施設との定期的な交流を持つことにより情報交換を行っています。グループホーム協議会に加入しており、必要に応じて市内のグループホームに相談したり連絡を取り合っています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入所前に本人やご家族と面談を行うことにより、信頼関係を築くようにしています。また、施設見学に来ていただき入所者や職員と顔を合わせていただくことにより、安心して入所していただけるよう努めています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	本人に面談を行うと同時にご家族との面談も行っています。ご家族が施設に望んでいることをお聞きしています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人やご家族が今困っていること、不安に思っていることの状態を確認して、改善に向けての話し合いの場を設けています。必要に応じて、入所前のケアマネージャーや在宅介護支援センターにも相談しています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	利用者の生活歴を知り、得意分野を大いに発揮して生きがいを持って生活していただけるよう配慮しています。野菜の育て方や季節の行事（そば打ち、梅干し・らっきょう漬け等）を教えてください。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	日頃の利用者の様子を口頭や文書で報告し、家族と情報を共有しています。身体的・精神的に変化があった場合には、可能な限り家族に面会をお願いし（または電話連絡により）一緒に対応を考えています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	関連施設のデイサービスセンターから定期的に慰問見学に誘っていただいています。慰問だけでなく馴染みの方との再会を喜ばれます。地域のイベントにも説教的に参加しています。	これまでの馴染みの関係や場所を個人記録のインテーク欄に記録し、入居後に知り得た情報については、共有ノートや支援経過、管理者が作成する申し送り事項を介して情報共有につなげている。個人の希望するお店やお墓参り等にも家族と相談して職員が同行する体制を整えている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	食事やお茶の時間は職員も一緒に会話しながら心身の状態、気分、感情の変化など注意深く観察し見守っています。利用者同士の関係を考えた席も配置しています。気の合う人同士で部屋の行き来もされています。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	他施設への入所、入院のため利用が終了した利用者に対しても、機会を見つけて面会に行き関係が途切れないようにしています。ご家族に会った時には様子をお伺いし、継続的なかわりを持っています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日々の関わりの中で声をかけ、暮らし方の希望や本心を話していただけるよう努めています。自分らしく生活していただけるための最良の方法をご家族と話し合っています。	表情や行動など日々の関係を通じて理解できるようになり、新たに気付いたことは本人の思いをより理解し合えるよう職員間で伝え合い確認し合っている。また、思いをうまく把握できない場合は、家族や関係者からの情報も参考にしながら思いを汲み取り接している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所時のアセスメントで聞くようにしています。入所後もご家族や知人の面会時に少しずつ把握するようにしています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	利用者の生活リズム（起床・食事・就寝等）について把握し、個々に合った声掛けを心がけています。できることを見つけて働きかけるようにしています。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	アセスメントや担当者会議、計画の評価等を参考にして計画を作成しています。利用者やご家族からは、日頃の関わりの中で思いや意見を聞き計画に反映させています。	本人や家族、担当職員や主治医の意見を参考して介護計画をたてている。3ヵ月毎に実施するモニタリングに加え、毎月担当職員がケアプラン評価を実施しており、利用者の身体状況の変化等、現状に即した介護計画となるよう随時見直しを行っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日常生活の状況を記録するファイルと身体状況を記録するファイルを個別に用意し、利用者個々の様子を具体的に記載しています。月末には担当職員を中心にケアプランの評価を行い、見直しの参考にしています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	症状に応じての通院や入院中の家族への面会介助等、柔軟に対応しています。個々の利用者の満足度を高めるよう努力しています。週に3回、リハビリのための通院介助も行っています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	入所前に利用されていたサービス提供事業者から聞き取りをしたり、在宅のケアマネや面会者から情報収集を行って、生活に生かせるよう努めています。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入所の際に本人やご家族と話し合い、了解が得られれば協力病院をかかりつけ医にしています。他の医療機関を望まれるときには家族同行をお願いします。緊急時は看護職員が同行します。	本人および家族等の希望をきき、往診があることから現在は全ての利用者が、母体医療機関をかかりつけ医としている。歯科や眼科等の専門医の受診については、家族や職員が同行しており、看護経過や「往診時の情報提供」に記録し、申し送り時等に報告、確認をしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	看護職員（管理者）が常駐しています。介護職員の日々の記録や状態変化の報告により必要な対応を行っています。週1回の訪問する訪問看護師とは気軽に相談できる関係ができています。月1回は定期往診もあります。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時には、本人に関する支援方法についての情報を医療機関に提供しています。洗濯物を取りに行くことを理由に毎日面会に行き病状を把握、早期退院に向けて主治医・看護職員・ご家族との話し合いを頻回に行います。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入所の際に、希望されれば終末期まで介護することを説明します。状態変化があったときは主治医の意見を参考にしながら本人・ご家族の希望を尊重した支援を行っています。必要に応じて訪問看護を利用し、ご家族との連絡も密に行います。	入居時に重度化した場合の対応についてを「緊急対応説明同意書」にて説明するとともに、これまでに看取りの実績はないが、看取りが必要になった場合には、再確認のための「看取り介護についての同意書」を説明できるよう書面を作成している。今後は、主治医や訪問看護との連携を図ることで看取り支援が実践できるよう考えている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時・事故発生時マニュアルを準備してあります。年に1回の普通救命講習を受講、また勉強会にも参加しています。感染症対策については協力病院から指導があり、その都度実演しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>火災を想定した避難訓練には地域の方の参加も呼びかけ、実際に避難誘導もお願いしています。声を掛ければ協力していただけの体制ができています。</p>	<p>年2回夜間想定を含む火災訓練には地域住民も参加され、避難場所での見守りをお願いすることができた。立地から土砂災害の不安もあるため、避難経路の確認についても十分確認し合っている。備蓄については、飲料水や米、レトルト食品等を事務所に保管するとともに備蓄品リストを食堂と保管場所に貼りつけることで内容や消費期限が一目でわかるようにしている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	排泄の失敗時など、さりげなく声掛けしてプライバシーの保護に努めています。利用者個々に応じた言葉を選んで声掛けしています。	日頃から職員の言葉遣いが利用者には不快を与えないよう、気を配りながら声をかけ接している。また、プライバシーを損ねないよう接遇や倫理についての外部研修に参加したり、母体医療機関に講師を呼び学ぶ機会を設けるなど、職員全員が統一した意識の下でケアできるよう努めている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	職員の意見を押し付けるのではなく、利用者本人が自分の意思を主張できるよう働きかけています。その日着る服を選ぶ、外出の希望等。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	天気のいい日には、その日の気分でコースを選んでいただき散歩に行きます。レクリエーションも利用者の希望を聞くようにしています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	利用者の好みを大切に、気に入った服を着てもらいます。外出や行事の際にはおめかしします。爪切りや髭剃り、整髪を心がけています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	配膳や下膳、台拭き等できることを手伝ってもらいます。みんなで会話しながら和やかな雰囲気での食事を心がけています。中庭で季節の野菜を栽培しています。	調理の下ごしらえや配膳、下膳等の食事の準備を利用者と職員が一緒に行い、食事と同じメニューで会話を楽しみながら一緒に食べている。また、お正月や敬老会、運動会等の行事には、行事食を提供し、年2回の花見の際にはバイキングを食べに出かけるなど食事を楽しむ時間を大切に考えている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事、水分摂取量を記録しています。個々の利用者の状況に応じて量や形態を調整しています。入浴後や散歩後にも水分補給を勧めます。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後の口腔ケアを行うよう準備し声掛けしています。自分のできない利用者には、必要性を説明して必要な介助を行っています。週1回は義歯をポリデントしています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	一人一人の排泄パターンを踏まえて、時間を見計らってトイレ誘導しています。リハパン使用者に対しては随時見直しを行い、自立支援に努めています。	個々の排泄パターンを把握してトイレ誘導につなげているが、トイレの認識が難しい方には、認識しやすいようポータブルトイレを利用している方もいる。極力、おむつ類を使わずに済むよう夜間のみリハビリパンツを使用するなど、状況に応じて工夫しており、それらを介護計画に組み込むことで職員全員で対応している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食材の工夫や水分摂取を勧め、散歩等体を動かすことにより自然排便を促しています。トイレでのウォシュレット使用、腹部マッサージも実行しています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	できるだけ利用者の希望される順番や時間に合わせて入浴していただきます。体調の悪いときにはシャワーや足浴で対応します。	基本的には一日おきだが、希望があればシャワー浴や部分浴を含め、いつでも入浴できる体制を整えている。また、土地柄、温泉を引いており、ゆず湯や菖蒲湯なども季節に応じて楽しんでいる。入浴前後にはお茶やスポーツ飲料で水分を補給している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	散歩や外気浴、レクリエーションへの参加を促すことにより、日中の生活リズムを活性化させて安眠の支援を行っています。眠くなるまで職員と一緒に過ごしていただきます。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	職員は利用者が服用する薬の目的や副作用について把握しており、確実に服薬できるよう手渡して飲むまで見守っています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	その人の役割や出番を見出し、活躍の場を作り出しています。 (配膳・下膳・洗濯物干しとたたみ・園芸等)梅干しやそば打ち等、経験や知恵を発揮してもらっています。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	花見や市見学等、外出の行事を計画しています。日頃の会話の中から利用者の行きたいところを聞き出し、担当職員が連れて行くようにしています。ご家族にも協力をお願いします。年に2回の外食は大変楽しみにされています。	日常的に散歩に出かけており、車椅子の方も一緒に散歩を楽しんでいる。また、個別に希望する外出先へは、担当職員が毎月本人と話し合い決めて出かけており、自宅に帰りたいと言われた場合でも、自宅に連れて行くことで本人の気持ちに配慮し満足できるよう支援している。この他に初詣や法人主催の夏祭り、地域の文化祭や小学校の運動会にも出かけるなどしている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	金銭管理は難しくなっています。必要な品物は職員に買い物を頼まれます。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	居室に電話子機を持っていき遠慮なく話してもらいます。ご家族からのハガキはすぐに本人に渡します。携帯電話をお持ちの利用者もおられますが、ほぼ職員が介助しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	天気のいい日には窓を開けて自然の風を感じてもらいます。テラスに洗濯物を干しながら、季節の野菜や花を眺められます。散歩の途中で積んだ草花をテーブルに飾ることもあります。	旅館のような外観の造りになっており、玄関や廊下は十分な採光があり明るく、廊下のベンチに腰掛けると中庭の植物や野菜を眺めたり、日向ぼっこを楽しむのに最適な憩いの空間となっている。また、季節毎の作品を利用者と職員が作り、飾ることで四季を感じ取れるようにしているほか、加湿器や空気清浄機を取り入れることで室温や換気にも気を配っている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	食堂の決まった席だけでなく、廊下やテラスのベンチ等思い思いの場所で過ごされています。仲の良い利用者同士で寛がれる姿が見られます。	/	/
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	自宅で使われていた家具や小物等を持ち込まれています。家族の写真も飾られています。寝具は、自宅で使っていたものを持ち込んでいただいています。	各居室にはエアコンにベッド、洗面台、タンスが備え付けられており、家具の配置や飾り付け、ベッドメイク等を職員と利用者が一緒に行っている。ゆっくりくつろげるよう、自宅で使っていた寝具を持ち込んでもらい、他の物品についても新たに購入せず馴染みの物を持ってきてもらうよう説明している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	トイレ、浴室、廊下には転倒防止のための手すりが設置してあり、移動時には支えられます。歩行不安定な利用者は歩行器を使われます。トイレのわからない利用者のため、廊下に表示しています。	/	/

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員と一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目：28)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	地域に開かれたホームの運営を理念に掲げ、朝礼時に出勤者、皆んなで読み上げ毎朝意識付けを行っています。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人員として日常的に交流している	散歩や地域の行事や清掃に参加することで地域の方々と挨拶を交わしたり、顔見知りとなり、声もかけて頂けるようになり地域に溶け込むように努力しています。		
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	運営推進会議に自治会長さんの参加があり認知症の理解、グループホームの役割を説明する機会があります。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヵ月に一回開催され、消防署長、行政担当者、地域代表、家族、入所者、職員が参加し意見交換がなされています。消防訓練等地域と連携して実施しています。会議の内容を記載した郷たよりを発行しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>地域包括支援センターや国保介護課との連携を取り情報交換をしています。</p>		
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>危険を感じた場合にはやむを得ず玄関の施錠をしている日もあるようになりました。身体拘束に関しては毎月26日の職員会議で報告をして皆で確認しています。</p>		
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>院内勉強会で学ぶ機会があり、事業所内やご家族においても虐待がないように注意しています。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>市の介護課や院内勉強会で学ぶ機会があります。該当者がなく活用していません。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>入所時、ご家族に対して契約書を提示し、十分説明し納得して頂いています。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>行事の際の家族会や来苑時に話しやすい環境づくりに努めています。ご要望や願い事に関しては皆で話し合い問題解決に努めています。</p>		
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>職員会議に提案してもらい協議しています。</p>		
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>年数に応じて必要な資格を目指して院内勉強会等に参加しています。向上心を持って働いています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>院内勉強会を中心に法人内外の研修も受けられるように調整しています。研修の報告は職員会議で発表し参加できなかった者にも資料を配布しています。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>法人内や協力施設との定期的な交流を持つことで情報収集に努めています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入所前の施設見学時職員との顔合わせの時信頼関係を築く努力をしています。入所時に本音を話しやすい温かい雰囲気作りに配慮し、困りごとや不安を的確に把握できるように心掛けています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご本人との面談と同時に家族との面談も行っています。望む暮らしや心配事を丁寧にお聞きするようにしています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人とご家族と要望が食い違っている時もありますが、双方の考えを調整しながら、前向きな方向への対応を心掛けています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	ご本人の生活を把握し、敬い昔話や苦労話を聞き得意な分野が活かせる支援を心掛けています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	日頃の様子は月一回の家族への手紙でお知らせしています。病気や緊急を要する時は電話でご連絡し相談できるよい関係が築いています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	馴染みのビューティーヘルパーさんに2ヵ月に一回来て頂き散髪してもらっています。市の文化祭・暮れ市・人形市・小学校の運動会等に参加し馴染みの方々と会話や関係を築いています。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入所者様同士が気軽に会話を楽しめるように職員が雰囲気作りをしています。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入院や他施設への移動があっても面会に行ったり、ご家族にも様子を聞いたりして関係が途切れないようにしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日常会話の中でどのように暮らしをしたいか本心を聞き出せるような信頼関係作りを心掛け支援に役立てています。困難な場合にはご家族の協力も頂いています。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所時の面談でお聞きし、ご本人のこだわりが支援に活かせるアセスメントを行っています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々の生活パターンを把握し、自分で出来る事をして頂き生活意欲を高められるよう支援しています。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人様の日頃の行動を観察し、普段と違う状況を把握しながらケアプランを作成しています。ご家族のご意向も伺いケアプランに役立てています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日常生活の様子や身体状況を介護日誌に毎日記載しバイタルや食事の摂取量も個人ごとに記録し情報の共有もしています。職員が書いた各個人の評価も介護計画に活かしています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人やご家族の状況に合わせ病院受診や送迎もしています。定期的なリハビリ受診も個人のニーズに合わせ柔軟に対応しております。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	入所前に利用されていたサービス事業所より聞き取りを行ったり、面会に来て下さった方からも情報収集をし、その方にふさわしい支援が出来るようにしています。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	受診は本人及び家族の希望を大切にし他の病院を希望される場合は家族に同伴して頂き家族がいけない場合は医療機関と連絡を取り合って支援しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	看護職員が常駐しています。日頃の様子観察は介護職が行い、いつもと違う場合は迅速に看護師に連絡し指示を頂いています。週一回訪問看護師からの指導も受けています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	職員が交代で入院先に行き、状態の観察や会話をすることで早めの退院ができるように声掛けしています。入院先の看護師からも状況を聞くようにしています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入所の際終末期までの介護支援も説明しています。状態が急変した場合は主治医の意見を聞きご本人・家族と話し合い希望を尊重した支援を行います。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	救急救命の講習を年一回受講しています。心臓マッサージやAEDの使い方誤嚥などの対応の指導も受けています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	災害時に備えて避難訓練を年に2回消防署の方から職員全員に指導を受けています。夜間を想定した訓練も行っています。運営推進会議等で地域の方との話し合いの場もあり協力体制も築けています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	尊厳と思いやりの気持ちを常に心がけ言葉使いや言動に気を付けています。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日常生活のなかでご自分で自己決定できるような言葉かけを心がけています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入浴の順番や散歩の時間やコースなど利用者本位の支援が出来るように心がけています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	散髪は定期的に行い希望の髪型を美容師の方にお伝えしてカットして頂いています。髭のそりのこしや爪切りも入浴時行っています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事前の嚥下体操時歌を歌ったりして心をリラックスして頂き、食事中は音楽をかけて楽しく食事が出来るような雰囲気づくりに心掛けています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>食事量や水分摂取量は毎日記録しています。希望される入居者にはペットボトルの水を朝・夕2回提供しています。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>毎食後口腔ケアの声掛けをしています。介護の必要な方にはそばにつき言葉かけをしながら行っています。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	<p>コールによるトイレ希望の方の排泄介助を大切にしています。Pトイレも居室内に設置しご自分に合ったトイレの使用を支援しています。</p>		
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>水分を多く摂ってもらい、散歩等で身体を動かすように促しています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入所者様の希望を取り入れ思いが叶うような入浴介助をしています。清拭・足浴も場合によっては行っています。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人ひとりのペースに合わせて休息したり、就寝もご自分の好きなような時間に休まれています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬を仕訳するときは処方箋を必ず読んで理解に努めています。薬は手渡しし、飲み終わるまで見届けています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	出来る事、得意な事は率先してやって頂き、役割を持って頂く事で意欲や自信を取り戻せるように支援しています。梅干し作りやラッキョウ作り等は張り切ってしておられます。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	地域の行事・市の文化祭・祭り等に外出しています。家族が墓参り・外食等に連れて行って下さる所もあります。ご家族が県外におられる所は職員が入所者様宅にお連れする事もあります。落ち着かれます。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>孫・ひ孫へのお年玉はご自分の手から渡され、お見舞いとして頂かれたものは一時ご自分で大切に保管しておられますが、ご家族の面会時に渡されているようです。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>電話の希望時はその都度対応しています。ご自分で居室に携帯電話をもっておられる方にも取次の支援をしたり電話の説明を繰り返し行っています。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>朝一番で窓を開けきれいな空気を部屋の中に取り入れています。テラスには季節の野菜や花を植えテーブルやトイレ等季節の花を飾り季節を感じて頂いています。</p>		
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>食堂では自分の席に座ったり和室の畳に座ったり廊下の椅子に座って外を眺めたりして思い思いに過ごしておられます。食堂では気のあった方との話の場になっています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	タンス・椅子・位牌・家族の写真等部屋の中に飾り家族と一緒に居るんだと感じて頂いています。塗り絵やカレンダーへの色塗り季節毎の飾り物も各部屋に飾ってあります。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	廊下、トイレ、浴室等手すりを利用され安全に自立支援が出来るように工夫されています。		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない